

# 第5回荒川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会

日時：令和8年5月13日（水）18時30分から  
会場：本庁舎5階大会議室

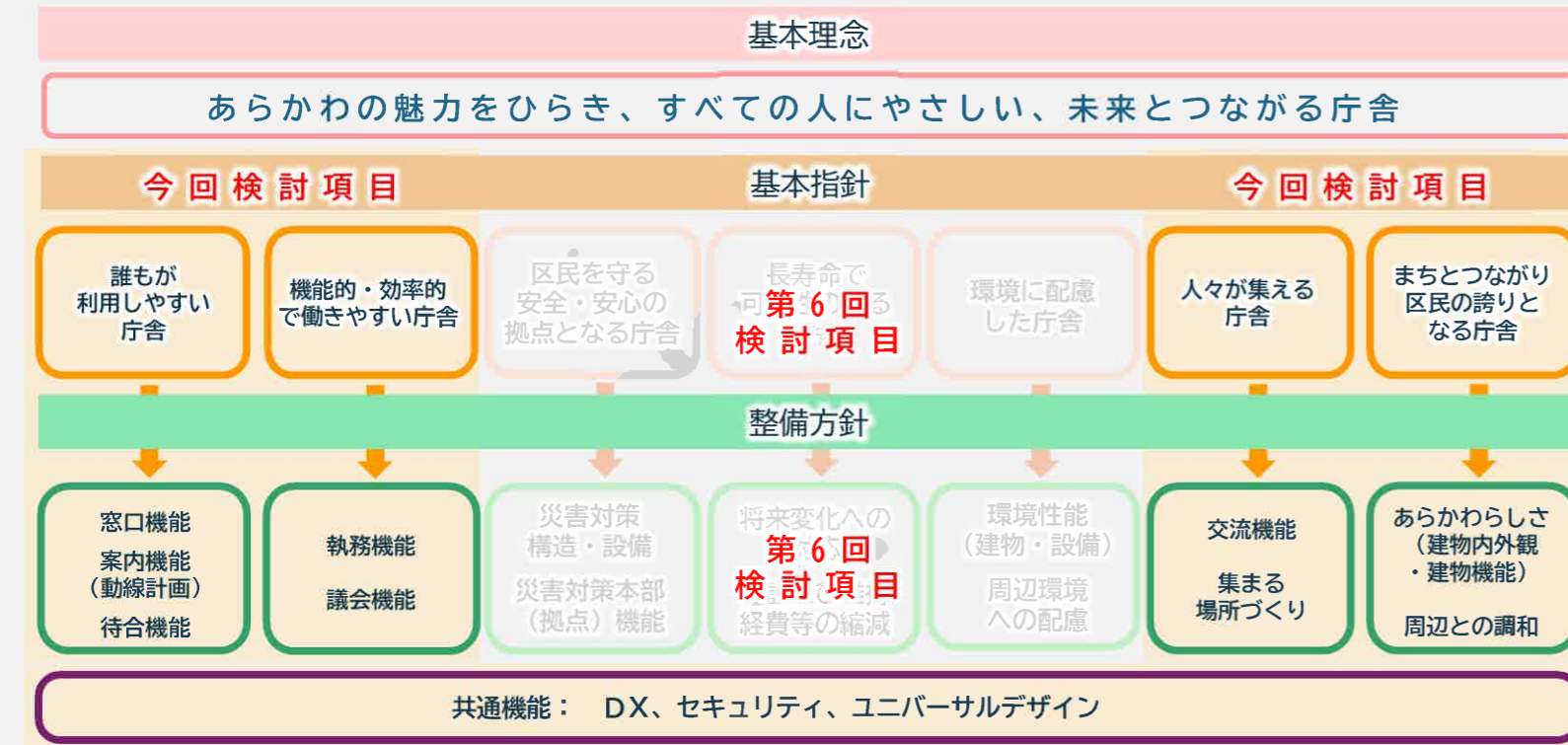
## 次 第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 策定委員会の今後のスケジュールについて
  - (2) 検討項目の確認
  - (3) 導入機能の検討体制
  - (4) 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）
- 4 今後の日程について

### 【資料一覧】

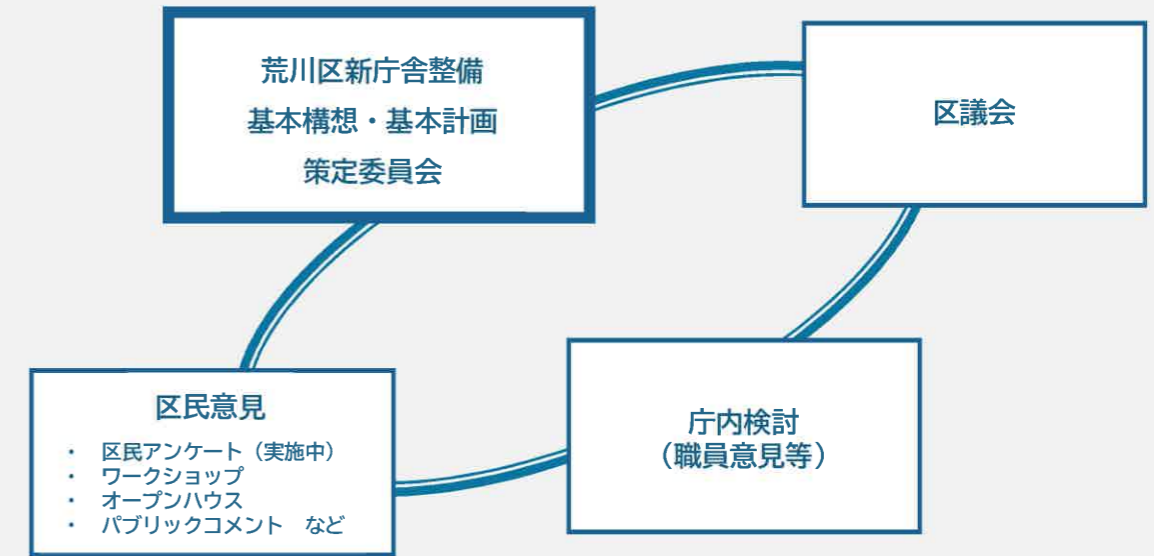
項目	内容
資料1	第5回資料【議題の概要】
資料2	第5回資料
資料3	事例集

■ 今回の検討項目

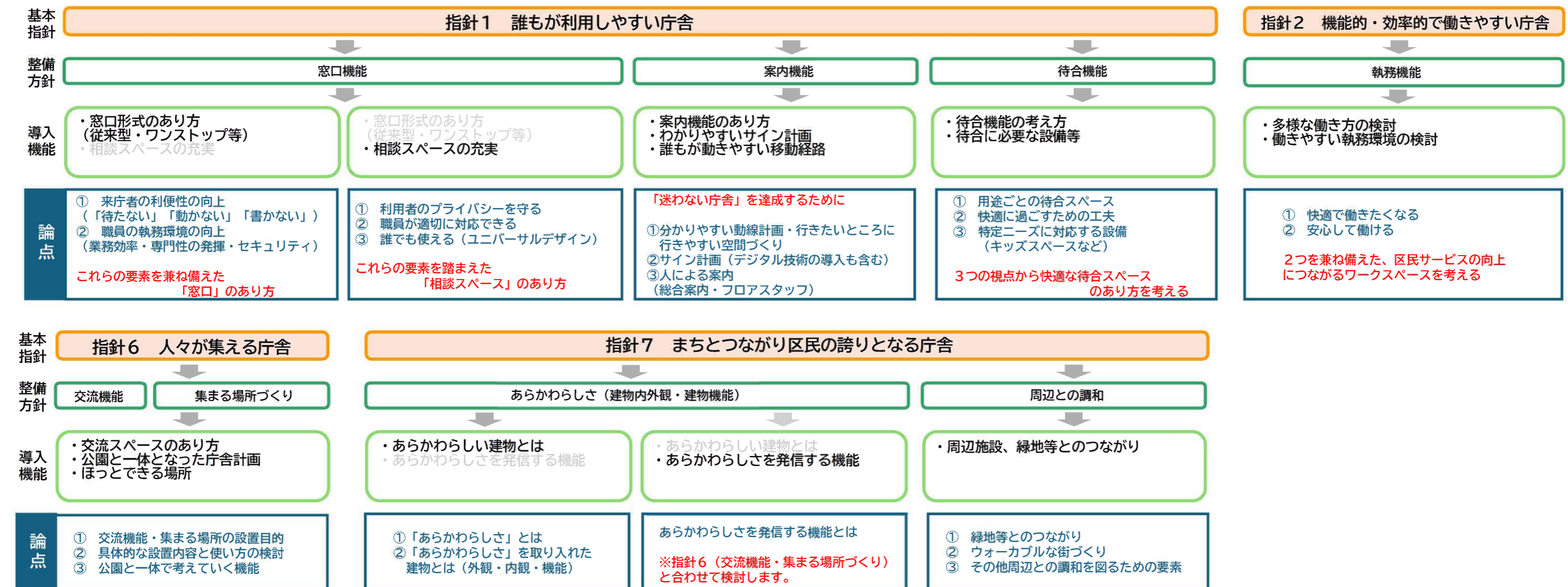


■ 導入機能の検討体制

整備方針の各機能については、策定委員会における検討結果に加え、アンケートやワークショップにより聴取する区民意見、区議会、庁内検討における意見等を総合的に考慮して決定します。



■ 新庁舎に必要な機能



**第5回  
荒川区新庁舎整備  
基本構想・基本計画  
策定委員会**

日時：令和8年5月13日（水）

# 目次

---

## 新庁舎に必要となる機能の詳細検討

1. 策定委員会のスケジュール（第5回以降） 3
2. 今回の検討項目 4
3. 導入機能の検討体制 6
4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ） 7

指針1\_誰もが利用しやすい庁舎

指針2\_機能的・効率的で働きやすい庁舎

指針6\_人々が集える庁舎

指針7\_まちとつながり区民の誇りとなる庁舎

# 1. 策定委員会のスケジュール（第5回以降）

## 基本計画

### 第5回 新庁舎に必要な機能の詳細検討

- 新庁舎に必要な機能（窓口・案内・待合・交流機能など）
- 機能別の具体的な考え方とイメージ

### 第6回 建築にかかる詳細検討

- 新庁舎に必要な機能（災害対策・環境性能）
- 配置の検討Ⅰ【敷地】（本庁舎等建物・広場、公園など）
- 配置の検討Ⅱ【敷地内導線（アクセス）】（駐車場・駐輪場など）
- その他建築（耐震・外装など）の考え方
  - ・ 区民意見の聴取について

### 第7回 事業の諸条件整理

- 配置の検討Ⅲ【建物】（本庁舎内部の配置など）
- 整備手法の説明及び検討
- 事業の全体スケジュールについて

### 第8回 基本構想・基本計画 まとめ

- ◎ 基本構想・基本計画（まとめ）

## 2. 今回の検討項目

### 基本理念

あらかわの魅力をひらき、すべての人にやさしい、未来とつながる庁舎

### 今回検討項目

### 基本指針

### 今回検討項目

誰もが  
利用しやすい  
庁舎

機能的・効率的  
で働きやすい  
庁舎

区民を守る  
安全・安心の  
拠点となる庁舎

第6回  
検討項目

環境に配慮  
した庁舎

人々が集える  
庁舎

まちとつながり  
区民の誇りと  
なる庁舎

### 整備方針

窓口機能  
案内機能  
(動線計画)  
待合機能

執務機能  
議会機能

災害対策  
構造・設備  
災害対策本部  
(拠点)機能

将来変化への  
第6回  
検討項目  
経費等の縮減

環境性能  
(建物・設備)  
周辺環境  
への配慮

交流機能  
集まる  
場所づくり

あらかわらしさ  
(建物内外観  
・建物機能)  
周辺との調和

共通機能： DX、セキュリティ、ユニバーサルデザイン

# 2. 今回の検討項目

## 第5回 新庁舎に必要な機能の詳細検討

新庁舎に必要な機能を指針の区分に沿って検討していきます。

### 指針1 誰もが 利用しやすい庁舎

#### 窓口機能

- ・窓口形式のあり方  
(従来型・ワンストップ等)
- ・相談スペースの充実

#### 案内機能 (動線計画)

- ・案内機能のあり方
- ・わかりやすいサイン計画
- ・誰もが動きやすい移動経路

#### 待合機能

- ・待合機能の考え方
- ・待合に必要な設備等

### 指針2 機能的・効率的で 働きやすい庁舎

#### 執務機能

- ・多様な働き方の検討
- ・働きやすい執務環境の検討

#### 議会機能

- ・設備の充実
- ・傍聴席のあり方

### 指針3 区民を守る安全・安心の 拠点となる庁舎

#### 災害対策構造・設備

- ・地震に強い建物構造  
(制振構造、免震構造)
- ・浸水時に対応できる建物
- ・災害を考慮した建物配置

#### 災害対策本部 (拠点) 及び維持経費などの縮減

- ・平常時の利用も考慮した防災  
拠点の整備
- ・備蓄の充実
- ・情報収集・伝達手段

### 指針4 長寿命で 可変性のある庁舎

#### 将来変化への対応

- ・将来の変化に柔軟に対応で  
きる建築計画
- ・機器のメンテナンス、更新  
を配慮した計画

## 第6回 検討項目

### 指針5 環境に配慮した庁舎

#### 環境性能 (建物・設備)

- ・目標値の設定 (ZEBランク等) ※
- ・省エネ・創エネ手法

#### 周辺環境 第6回 検討項目

- ・周辺環境の活用
- ・木利活用

※ZEBとは、建物の消費エネルギーを減らし、太陽光発電などによってエネルギーを作ることで、年間のエネルギー消費量を実質ゼロ以下にする建築の考え方。

### 指針6 人々が集える庁舎

#### 交流機能

- ・交流スペースのあり方
- ・公園と一体となった庁舎計画

#### 集まる場所づくり

- ・ほっとできる場所

### 指針7 まちとつながり 区民の誇りとなる庁舎

#### あらかわらしさ

- ・あらかわらしい建物とは  
(建築外観・内観・機能面の検討)
- ・あらかわらしさを発信する機能

#### 周辺との調和

- ・周辺施設、緑地等とのつながり

### 共通機能

#### DX

- ・ICTの活用
- ・デジタル化の促進

#### セキュリティ

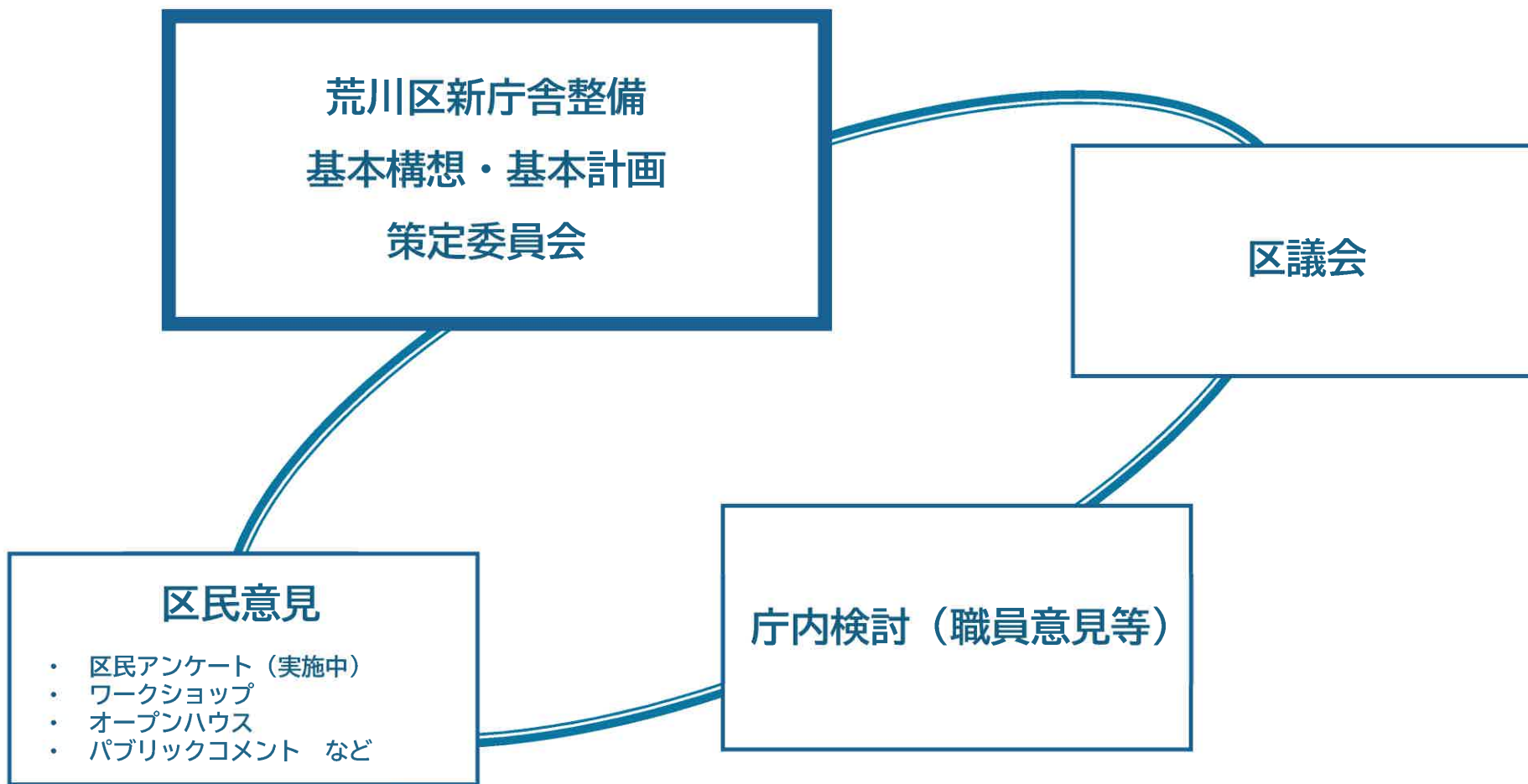
- ・対策の強化
- ・休日・夜間のセキュリティ手法
- ・セキュリティによる区分計画

#### ユニバーサルデザイン

- ・利用しやすい環境の考え方

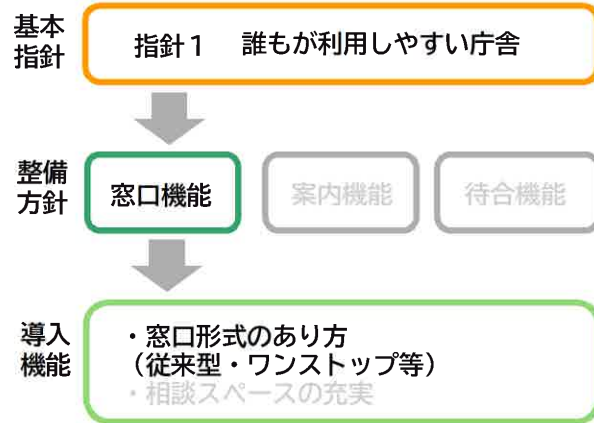
### 3. 導入機能の検討体制

整備方針の各機能については、策定委員会における検討結果に加え、アンケートやワークショップにより聴取する区民意見、区議会、庁内検討における意見等を総合的に考慮して決定します。



# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針 1 誰もが利用しやすい庁舎



窓口のあり方は、区民サービスの質と業務の進め方の双方に関わる重要なテーマです。

窓口形式には、来庁者が移動する形式（課別窓口）や職員が移動する形式（ワンストップ窓口）など様々な形式があり、来庁者・職員双方にとってそれぞれ利点と課題があります。

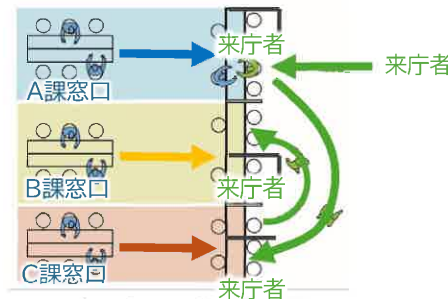
### ご意見いただきたい内容

- ① 来庁者の利便性の向上（「待たない」「動かない」「書かない」）
- ② 職員の執務環境の向上（業務効率・専門性の発揮・セキュリティ）

これらの要素を兼ね備えた「窓口」のあり方

### 窓口形式（例）

#### ■ 来庁者が移動する窓口形式（従来どおりの課別窓口）



#### 良い点

- ①各窓口の専門性が高まり、深い相談や複雑な手続きにきめ細かく対応しやすい。
- ②職員は特定の分野に集中できる。

#### 課題事項

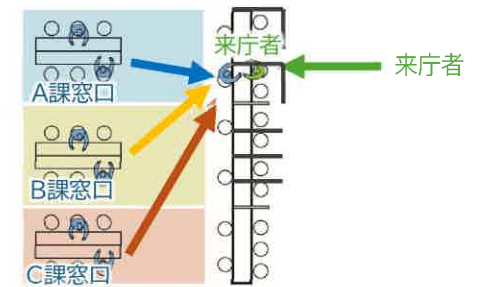
- 来庁者の移動負担を軽減できる方策
- ①ライフイベントに係る窓口の同一フロア配置
  - ②来庁者が迷わない案内機能・サイン計画

### 共通機能[DX] 窓口業務のDX推進による来庁者の利便性向上

#### 「書かない・待たない窓口」の実現

マイナンバーカード等の活用により、申請書の自動入力で来庁者の負担が軽減する「書かない窓口」の推進を図るとともに、あわせて「待たない窓口」を目指す。

#### ■ 職員が移動する窓口形式（一か所完結のワンストップ窓口）



#### 良い点

- ①来庁者の移動が最小化できる。
- ②来庁者が迷わず相談できる。

#### 課題事項

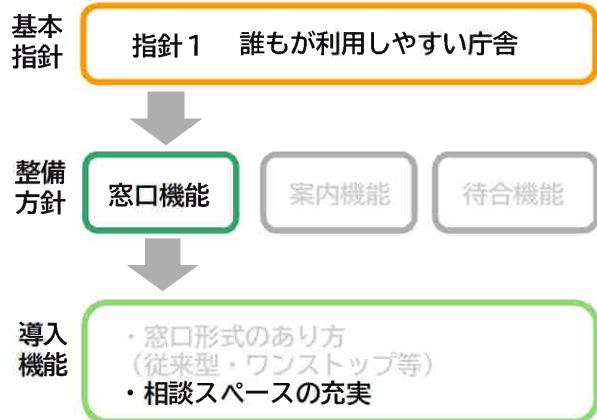
- 従来型から変化することへの対応
- ①バックヤードでの連携・情報共有の仕組みづくり
  - ②窓口一本化による待ち時間増加への対策

#### 「行かない窓口」への段階的進化

将来的には、システムの共通化やオンライン申請の拡充で、来庁不要な「行かない窓口」の拡大を検討していく。

# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針 1 誰もが利用しやすい庁舎



相談スペースは、来庁者が安心して相談できる環境づくりと、職員が適切に対応できる運用の両立が求められます。

開放的な形式からプライバシーに配慮した形式まで多様な選択肢があり、それぞれに特性があります。

本委員会では、事例を踏まえながら、新庁舎にふさわしい相談スペースのあり方について方向性を共有することを目的に議論を行います。

### ご意見いただきたい内容

- ① 利用者のプライバシーを守る
- ② 職員が適切に対応できる
- ③ 誰でも使える（ユニバーサルデザイン）

これらの要素を踏まえた「相談スペース」のあり方

### 視点1 利用者のプライバシーを守る



### 視点2 職員が適切に対応できる



### 共通機能（ユニバーサルデザイン・DX）

### 視点3 多様な利用者への対応



### 柔軟性のある空間活用



臨時で必要となる窓口・相談スペースに対応するため、柔軟性のある空間の確保も有効

（出典：他自治体HP）

# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針 1 誰もが利用しやすい庁舎

基本  
指針

指針 1 誰もが利用しやすい庁舎

整備  
方針

窓口機能

案内機能

待合機能

導入  
機能

- ・案内機能のあり方
- ・わかりやすいサイン計画
- ・誰もが動きやすい移動経路

案内機能は、来庁者が迷わず目的の窓口にとどり着ける「迷わない庁舎」を実現する上で重要な要素です。

動線計画、人による案内、サイン計画などの工夫により、その分かりやすさは大きく左右されます。

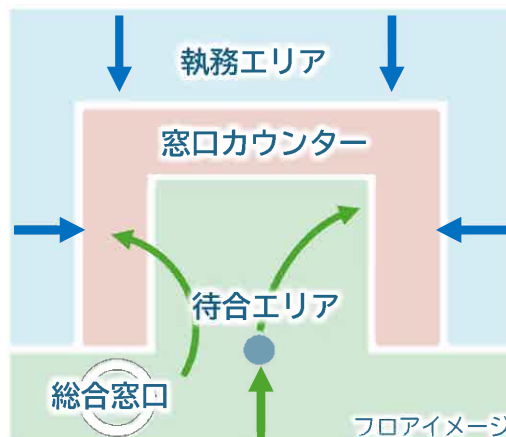
本委員会では、事例を踏まえながら、来庁者にとって使いやすい案内機能のあり方について議論していきます。

### ご意見いただきたい内容

「迷わない庁舎」を達成するために

- ① 分かりやすい動線計画・行きたいところに行きやすい空間づくり
- ② サイン計画（デジタル技術の導入も含む）
- ③ 人による案内（総合案内・フロアスタッフ）

① 分かりやすい動線計画・行きたいところに行きやすい空間



新庁舎では、窓口が待合エリアから見やすく、直感的に行く先がわかるような空間を目指します。

② 分かりやすいサイン計画（デジタル技術の導入を含む）



様々なサインの採用事例から、わかりやすいサイン計画を考えます。

③ 人による案内

総合窓口

現庁舎でも実施



フロア案内

現庁舎では未実施



総合窓口の役割やフロア案内の必要性について考えます。

# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針1 誰もが利用しやすい庁舎

基本  
指針

指針1 誰もが利用しやすい庁舎

整備  
方針

窓口機能

案内機能

待合機能

導入  
機能

- ・待合機能の考え方
- ・待合に必要な設備等

待合機能は、来庁者が手続の合間の時間を快適に過ごすための重要な要素です。

用途に応じた待合スペースの配置や、多様な過ごし方に対応する空間づくり、特定ニーズへの配慮などにより、その質は大きく変わります。

本委員会では、事例を踏まえながら、来庁者にとって快適で利用しやすい待合機能のあり方について考えます。

### ご意見いただきたい内容

- ① 用途ごとの待合スペース
- ② 快適に過ごすための工夫
- ③ 特定ニーズに対応する設備（キッズスペースなど）

3つの視点から快適な待合スペースのあり方を考える

### ①用途ごとの待合スペース

庁舎に用事がない人でも気軽に利用できる待合スペース



窓口対応待ちの来庁者用待合スペース



### ②快適に過ごすための工夫（多様な待合スペース）



### 共通機能 DXによる待合の変化

DXによる待ち時間の可視化

- ・待ち時間の目安表示
- ・窓口呼び出し通知など



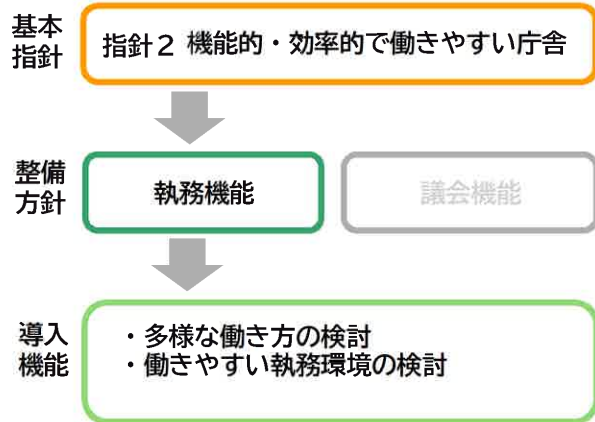
庁舎内の待合やカフェで案内までの時間を過ごす

### ③特定ニーズに対応する設備（ユニバーサルデザイン）



# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針2 機能的・効率的で働きやすい庁舎



執務機能のあり方は、職員の働きやすさや業務の質に直結するとともに、これからの人材確保にも大きく影響する重要な要素です。また、執務環境の改善は業務効率の向上を通じて、区民サービスの質の向上につながる重要な要素です。

多様な働き方に対応するワークスペースの構成や、安心して働ける環境づくりなどにより、その魅力や生産性は大きく変わります。

本委員会では、事例を踏まえながら、職員にとって働きやすく魅力ある執務環境のあり方について考えます。

### ご意見いただきたい内容

- ① 快適で働きたくなる
- ② 安心して働ける

2つを兼ね備えた、区民サービスの向上につながるワークスペースを考える

### ① 快適で働きたくなる

#### ABWの考え方

<ABW (Activity Based Working) >

従来のように固定席のみで働くのではなく、職員自身が活動内容に合わせて働く場所を自由に選択できる働き方

<メリット>

- ・業務に最適な環境で作業できるため効率が上がる。
- ・職員が自分で働き方をデザインできるため、自己管理能力やモチベーションが高まる。
- ・多様な環境でのコミュニケーションが活性化される。



### ② 安心して働ける

#### 共通機能 セキュリティ



#### 職員専用スペース（ミーティング利用等）



執務中のミーティングの他、休憩時の食事スペースとしても使える職員専用空間の設置。

# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針 2 機能的・効率的で働きやすい庁舎

基本  
指針

指針2 機能的・効率的で働きやすい庁舎

整備  
方針

執務機能

議会機能

導入  
機能

- ・設備の充実
- ・傍聴席のあり方

区議会と調整の上、議会関係諸室や各種設備など議会機能の一層の充実を図る。

### ② 親子傍聴席



子ども連れの方が、気兼ねなく傍聴できる、親子傍聴席の設置。



### ① 他の市区町村における事例



### 設備の充実

### ③ 多目的利用

議場の「子ども議会」での利用や、「表彰式」の場としての利用などの検討。



# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針6 人々が集える庁舎

基本  
指針

指針6 人々が集える庁舎

整備  
方針

交流機能

集まる場所づくり

導入  
機能

・交流スペースのあり方  
・公園と一体となった庁舎計画  
・ほっとできる場所  
※あらかわらしさを発信する機能  
(指針7の一部を含む)

交流機能や集まる場所づくりは、区民が気軽に立ち寄り、交流や活動が生まれる場として重要な要素です。どのような目的で設け、どのような空間とするかにより、その役割や魅力は大きく変わります。

本委員会では、事例を踏まえながら、荒川区にふさわしい交流機能等の方向性を考えます。

### ご意見いただきたい内容

- ① 交流機能・集まる場所の設置目的
- ② 具体的な設置内容と使い方の検討
- ③ 公園と一体で考えていく機能

### ① 交流機能・集まる場所の設置目的

(例)

- 区役所を身近に感じ、親しみを持てる空間づくり
- 区民が気軽に立ち寄れる、区民同士の交流促進や活動を支援する場
- 様々なイベントや地域活動に利用できる多目的スペース
- 区民が憩える空間、ひとりでもほっとできる空間づくり
- 外国人居住者も多い区において、文化交流が図れる場の提供
- 文化や産業の魅力、区政に関する情報発信の場（指針7）

### ② 具体的な設置スペースと使い方

(例)

- 多目的スペース → イベント・地域活動など（交流機能・集まる場所）
- 屋外ひろば → イベント・移動販売スペースなど（交流機能・集まる場所）
- 展示スペース → 区の魅力や文化の発信等（交流機能・集まる場所・情報発信）
- カフェ・レストラン → 学習・読書・仕事の場（集まる場所）
- 売店・コンビニ・ATMなど（集まる場所）

### ③ 公園と一体で考えていく機能

# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 交流機能の事例

### ① 多目的スペース



### ③ 集まる場所を兼ねた広いエントランス



### ② 集まる場所を兼ねた広い屋外広場



### ④ 大きな屋根で雨天に対応できる広場



# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 集まる場所の事例

静かなライブラリーカフェ



見晴らしのいい展望レストラン



常設店舗による地域の物産販売（情報発信）



東京都庁

## 公園と一体となった計画の事例

庁舎に隣接した芝生広場



マルシェを開催



公園に面したカフェの設置

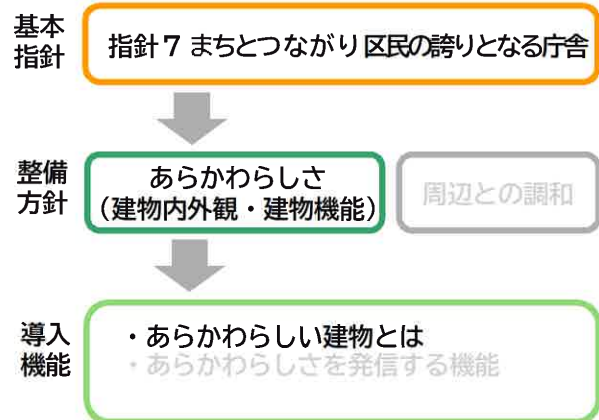


庁舎内（屋上）の緑化



# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針7 まちとつながり区民の誇りとなる庁舎



「あらかわらしさ」を表現した庁舎づくりは、地域への愛着や誇りを育むとともに、区民に親しまれる場とするうえで重要な視点です。

その表現は外観や内観のデザインにとどまらず、機能や使われ方にも関わります。

本委員会では、現庁舎の評価や地域の特徴、他自治体の事例も踏まえながら、「あらかわらしさ」とは何か、またそれをどのように建物に取り入れるかについて認識を共有することを目的に議論を行います。

### ご意見いただきたい内容

- ① 「あらかわらしさ」とは
- ② 「あらかわらしさ」を取り入れた建物とは（外観・内観・機能）

① あらかわらしさとは？

② あらかわらしさを取り入れた建物とは（外観・内観・機能）

(例) 地域の産業・素材を用いた庁舎

四万十町役場

四万十ヒノキ → 木造組柱・内装・家具を使用

雲南市役所

製鉄のまち → ルーバーに鉄を使用

地域の素材を用いて、内装、外装をデザインし地域性を表現

# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針7 まちとつながり区民の誇りとなる庁舎

基本  
指針

指針7 まちとつながり区民の誇りとなる庁舎

整備  
方針

あらかわらしさ  
(建物内外観・建物機能)

周辺との調和

導入  
機能

・あらかわらしい建物とは  
・あらかわらしさを発信する機能

「あらかわらしさ」を発信する機能は、地域の魅力や文化、活動を広く伝え、区民の愛着や来訪のきっかけを生み出す重要な要素です。

どのような内容を、どのような方法で発信するかにより、その効果や広がり大きく変わります。

本委員会では、事例を踏まえながら、「あらかわらしさ」を効果的に発信する機能のあり方について考えます。

### ご意見いただきたい内容

あらかわらしさを発信する機能とは

※ 指針6（交流機能・集まる場所づくり）と合わせて検討します。

### 地域情報・文化発信スペース



繊維のまち



俳句のまち



読書のまち



あらかわ遊園



荒川ブランド



都電とバラ

#### 区の情報発信スペース



中野区役所

#### サイネージ（電子掲示板）による情報発信



渋谷区役所

#### 地域の物産展（多目的スペース）



豊島区役所

地域の情報を発信するスペースの他、地域の物産展の開催、店舗の設置なども考えられる。

# 4. 新庁舎に必要な機能（考え方とイメージ）

## 指針7 まちとつながり 区民の誇りとなる庁舎

基本  
指針

指針7 まちとつながり 区民の誇りとなる庁舎

整備  
方針

あらかわらしさ  
(建物内外観・建物機能)

周辺との調和

導入  
機能

・周辺施設、緑地等とのつながり

庁舎は単体の建物としてだけでなく、周辺のまちや緑地、にぎわいと連続した空間として整備することが重要です。

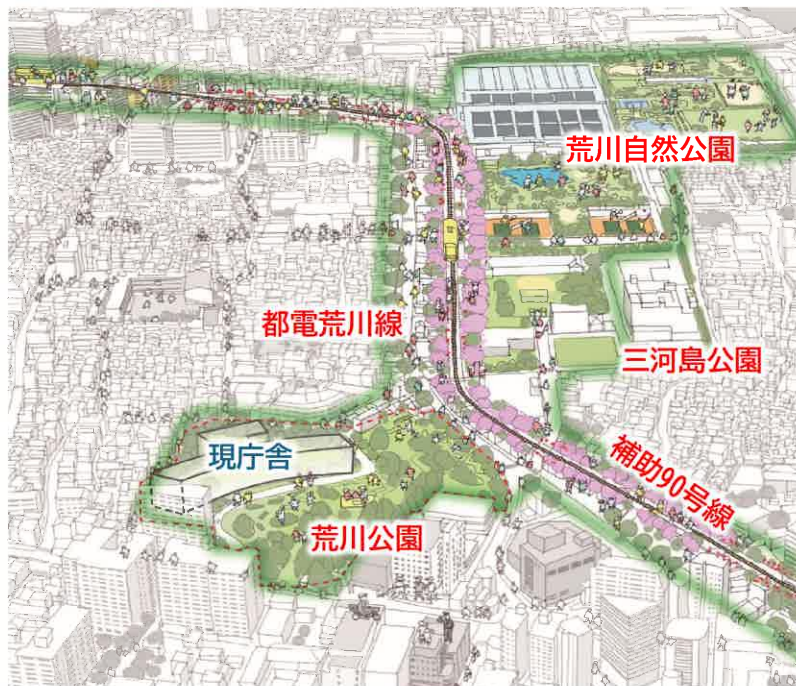
周辺環境とのつながりや調和の図り方によって、まち全体の魅力や回遊性は大きく変わります。

本委員会では、事例を踏まえながら、庁舎と周辺施設・空間との関係性のあり方や、まちに開かれた空間づくりの方向性について認識を共有することを目的に議論を行います。

### ご意見いただきたい内容

- ① 緑地等とのつながり
- ② ウォーカブルな街づくり
- ③ その他周辺との調和を図るための要素

### ① 緑地等とのつながり



### ② ウォーカブル（歩きたくなる）な街づくり

